商品市況展望

平成 24 年 10 月 7 日記

＊ 赤丸は左から北方領土、竹島、尖閣諸島、南沙諸島、西沙諸島。

もしもあなたが中国の軍事関係者ならば、大陸をぐるっと取り囲む日本の地形は、太平洋に進出する際の邪魔者としか思えないだろう。敗戦前までは台湾～米領フィリピン～仏領インドシナまで日本の領土、もしくは影響下にあったわけだから、その圧迫は更に強かっただろう。

それはロシアにとっても同じで、かつては樺太～北方領土以北のクリル諸島まで大日本帝国領であったのだから、ロシアも太平洋に抜けるルートを確保のために、北方領土を手放したくないのは当然の事。

中国が太平洋をはさんで米国と覇を競おうとした場合には、横たわる日本は軍事的に最大の邪魔者であろう。中国にとってみれば、台湾は自国領土に必ず留め置かないといけないし、出来れば沖縄を含めた地域を確保するのが、太平洋で米国と対峙するには必要絶対条件だろう。

そのためにフィリピンとは南沙諸島でもめるし、ベトナムとは西沙諸島ともめているが、これは尖閣～沖縄を取るための軍事訓練との位置づけでもおかしくないだろう。本尊はやはり沖縄だろうし、日本を攻めるのなら喉元にナイフのように突き出ている朝鮮半島から…というのは、当然の話だろう。

逆に日本が大陸に進出するなら、朝鮮半島確保～遼寧半島進出が条件で、実際それがうまくいったから満州へと進出したわけだろう。その後の結果をみれば、大失敗ではあったわけだ。所詮、海洋国家は大陸国家にはなれないという事。逆もまた真だろうが。

この逆さ地図を見れば、そういう事が一目で理解出来るはずだ。

〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

今週の金の値動き

	10 月限(当限)	前日比	8 月限(先限)	前日比
10 月 1 日	¥4,424	−17	¥4,437	−19
10 月 2 日	¥4,495	41	¥4,475	38
10 月 3 日	¥4,460	−5	¥4,474	−1
10 月 4 日	¥4,498	38	¥4,514	40
10 月 5 日	¥4,519	21	¥4,532	18

金相場は、先週号においては『ファンドポジション、ETF の動向を見ても、金人気が低下したとは思えない。そうであれば、今の下落は上昇途中の単なる押しであり、4,363 円は調整安完了の価格ではあるまいか。押し目買いの相場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、再び騰勢を強めた相場が週末には **4,550 円（10/5）まで上昇**と新高値を更新。予測通り 4,363 円が底となり、200 円弱の上昇となったわけだ。

その後の夜間取引では、高値 4,543 円、安値 4,502 円と乱高下したが、新高値更新はならず、4,500 円は割り込まずという状況。東京市場 3 連休明けは、さてどう動くかである。

注目の米雇用統計が夜間取引中に出たわけだが、失業率は 7.8%と低下。（事前予想は 8.2%）しかし**非農業部門雇用者数は 11 万 4000 人増にとどまり、事前予想の 11 万 5000 人増は下回った。**

…中略…

ただしチャートでは、**まだ 4,363 円（9/27）は底。再び騰勢を強めた場合は、4,540 円→4,363 円までの押し 177 円の倍返し＝4,717 円が目標となろうし、その前に 2 月の年初来高値である 4,654 円到達が目標となろう。**

基本的には、まだ強い相場であるとの見方は変えていない。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 10 月	¥4,229	10 月 27 日	¥4,652	2 月 27 日	¥3,808	12 月 30 日	¥4,519
2012 年 12 月	¥4,037	12 月 26 日	¥4,654	2 月 27 日	¥3,808	12 月 30 日	¥4,523
2013 年 2 月	¥4,654	2 月 27 日	¥4,654	2 月 27 日	¥3,885	6 月 4 日	¥4,527
2013 年 4 月	¥4,307	4 月 25 日	**¥4,546**	**10 月 5 日**	¥3,886	6 月 4 日	¥4,529
2013 年 6 月	¥4,023	6 月 27 日	**¥4,548**	**10 月 5 日**	¥3,940	7 月 24 日	¥4,529
2013 年 8 月	¥4,224	8 月 29 日	**¥4,550**	**10 月 5 日**	¥4,166	9 月 3 日	¥4,532

〇NY 金日足
…削除済み…

週末 10/5 の NY 市場は、前日比 15.7 ドル安の 1780.8 ドルでの終了。国内換算では、円安であるため 15 時半比 20 円安。
前日には 1797.7 ドルと高値更新＆1800 ドル乗せ寸前まで上昇していたが、米雇用統計が発表されたこの日は**高値 1798.1 ドル**（高値更新）、**安値 1774.5 ドル**と乱高下。

チャートでは 1750 ドルを割り込むと若干悪化するが、1800 ドル乗せとなれば勢いに加速が出るだろう。
1790 ドル（9/21）→1738.3 ドル（9/26）の押し目 51.7 ドルの倍返しならば、**ズバリ 1841.7 ドルが目標値**であり、1800 ドル乗せとなったらその辺まで見ている。

CFTC 発表の 10/2 現在のファンドのポジションは、…中略…

10/5 現在の ETF 残高は、1…中略…

結論として当方の相場観は、高値更新して連休を迎えた相場が一日目は押しているが、まだ天井を打ったとは思えない情勢だ。まずは NY 金 1840 ドル台、大きな目では 1900 ドル台を目指している展開と見る。押し目買い継続の相場であろう。

○東京プラチナ日足
…削除済み…

今週のプラチナの動き

	10 月限(当限)	前日比	8 月限(先限)	前日比
10 月 1 日	¥4,148	-27	¥4,163	-14
10 月 2 日	¥4,212	64	¥4,219	56
10 月 3 日	¥4,217	5	¥4,223	4
10 月 4 日	¥4,293	76	¥4,308	85
10 月 5 日	¥4,347	32	¥4,362	54

プラチナ相場は、先週号においては『4,050 円で調整安は完了した可能性が高いだろう。まずは 4,300 円台を目指し、南アでの緊張感が高まれば年初来高値の 4,500 円台を目指す事になるだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、騰勢を強めた相場が週末には **4,395 円（10/5）まで上昇**。予想通りに **4,050 円（9/21）を押し目底として、大きく上昇**した展開である。

南アの情勢は相変わらず不透明であり、今の情勢では年初来高値の 4,589 円（3/14）を目指している展開に変化はないだろう。

また 4,336 円（9/18）→4,050 円（9/21）までの押し目 286 円幅の倍返しなら、**ズバリ 4,622 円が目標値**となるわけで、その辺まではあっても不思議ではないだろう。

南ア・プラチナ鉱山ストは、まだなかなか出口が見えない情勢だ。アングロ・アメリカン・プラチナム社では違法ストが続いているが、これは**単なる賃上げ闘争にとどまらず、民族、人権などの問題に絡ませようとする過激な勢力が台頭しているからだ**。これは非常に厄介だ。

ただし週末 10/5 の NY プラチナは、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナ一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 10 月	¥3,918	10 月 27 日	¥4,570	3 月 14 日	¥3,375	12 月 30 日	¥4,347
2012 年 12 月	¥3,605	12 月 26 日	¥4,582	3 月 14 日	¥3,471	7 月 24 日	¥4,356
2013 年 2 月	¥4,535	2 月 27 日	¥4,589	3 月 14 日	¥3,468	7 月 24 日	¥4,347
2013 年 4 月	¥4,090	4 月 25 日	**¥4,381**	**10 月 5 日**	¥3,466	7 月 24 日	¥4,346
2013 年 6 月	¥3,681	6 月 27 日	**¥4,386**	**10 月 5 日**	¥3,460	7 月 24 日	¥4,356
2013 年 8 月	¥3,860	8 月 29 日	**¥4,395**	**10 月 5 日**	¥3,807	8 月 31 日	¥4,362

○東京プラチナ－金価格差日足
…削除済み…

週末現在のサヤは、4,362 円（プラチナ）－4,532 円（金）＝**－170 円**。

南アでの騒動が暴動まで発展するようなら、久々に金とプラチナのサヤはなくなるのだろうが、一方で自動車触媒用などの工業用需要の比率が高いわけで、欧州経済情勢や中国情勢、国内の動向を考えても、その需要が拡大するとも思えない。
順当ならばサヤは、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買い相場の継続で、4,600円辺りを目指している相場であろうとの考えに変化はないが、そろそろまた乱高下が始まりそうな気もする。突っ込みは買いで、吹き値は冷静に利食い千人力を心掛ける相場であろうと見る。

〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	11 月限(当限)	前日比	9 月限(先限)	前日比
10 月 1 日	¥27,330	1140	¥27,010	1240
10 月 2 日	¥27,500	−700	¥27,030	20
10 月 3 日	¥27,500	0	¥26,810	−220
10 月 4 日	¥28,510	1010	¥27,090	280
10 月 5 日	¥27,700	−810	¥26,970	−120

まずはコーンから…

先週号においては『米四半期在庫の大幅減少というサプライズで、週末のシカゴ市場は大暴騰。天候相場は 9,000 円上げて、4,500 円下げての半値押しで終了だったが、これで 10 月からの需給相場はまた高値追いする可能性が高まっただろう』とコメントした。

今週の相場展開は、米四半期在庫の急減という材料で週明けは急騰で始まったが、その後は**27,000 円を挟んでのもみ合いへ。25,510 円（10/1）で底は打ったのだろうが、勢いが付くには何かもう一つ足りない印象での終了である。**

チャートでは…中略…

そんな中で週末のシカゴ市場では、**インフォーマ社が 11 日の米農務省報告の事前予想として、生産高 111 億 9400 万 Bu**（9 月農務省報告は 107 億 2700 万 Bu）、**単収 127.0Bu/Ac と上方修正見通しを発表**。これによって 9 セント安の下落となっている。

3 万円まで上がっていた時は、ホット＆ドライによって**生産高は 100 億 Bu をも切るのではないか**と予想されて駆け上がっていたわけで、そこから見るとちょっと上昇力に陰りが出るのは当然だ。しかしハーベスト・プレッシャーだけで、あるいは 110 億前後の生産高で、**25,000 円以下に大きく下がるのも考えづらいところではある。**

…中略…

一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 11 月	¥24,400	10 月 17 日	¥31,810	8 月 23 日	¥21,060	6 月 4 日	¥27,700
2013 年 1 月	¥21,790	12 月 16 日	¥30,950	8 月 22 日	¥20,520	6 月 4 日	¥27,500
2013 年 3 月	¥23,290	2 月 16 日	¥30,340	8 月 22 日	¥20,820	6 月 4 日	¥27,490
2013 年 5 月	¥23,250	4 月 16 日	¥30,300	8 月 13 日	¥21,040	6 月 4 日	¥27,820
2013 年 7 月	¥21,550	6 月 18 日	¥30,300	8 月 13 日	¥21,490	6 月 18 日	¥27,620
2013 年 9 月	¥28,500	8 月 16 日	¥29,430	8 月 23 日	**¥25,510**	**10 月 1 日**	¥26,970

〇シカゴコーン日足
…削除済み…

週末 10/5 のシカゴ市場は、12 月限で 9 セント安の 748.00 セントでの終了。逆ザヤ相場であり、**来年の 9 月限は 656.50 セント**で、それ以降も先に行けば行くほど安くなる。

注目は 11 日の米農務省報告であり、先に大幅低下となった前年の期末在庫の動向、インフォーマ社が予測した今年の生産高とともに、需要をどう判断して在庫率をどうするのかが焦点だろう。
前回 9 月の在庫率は 6.5%であり、8 月は 5.8%だった。6.5%以上ならかなりの弱材料、6%以下なら強材料とされるのではあるまいか？

なお CFTC 発表の 10/2 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、25,510 円で押し目完了を果たしていると考えているものの、27,000 円以上はまだ頭の重い展開が続いている。注目は米農務省報告であり、ここで強材料が出るか、弱材料が出るかで大きく変わるだろう。大した材料が無ければ、大きく見て 3,000 円幅の逆張りという事になるか。

○東京大豆日足
…削除済み…

今週の大豆の値動き

	10 月限(当限)	前日比	8 月限(先限)	前日比
10 月 1 日	¥60,490	2990	¥49,200	670
10 月 2 日	¥64,000	3510	¥48,970	−230
10 月 3 日	¥65,000	1000	¥48,290	−680
10 月 4 日	¥65,000	0	¥49,000	800
10 月 5 日	¥65,500	500	¥49,170	80

続いて一般大豆です…

先週号においては『今週末の安値時点で、調整安は完了した可能性が高いだろう。10 月からの需給相場は押し目買い方針で、南米の天候リスクを織り込む動きになるのではないかと想定する』とコメントした。

今週の相場展開は、**48,000 円～49,000 円台前半でのもみ合い**。

48,080 円で調整安は完了しているとの判断ではあるが、上値もまだ重い。5 万円台回復となれば雰囲気も変わるのだろうが、急騰は内部要因を映した当限のみとなっている状況であり、先物は下がりもしないが上がりもせず、完全に横ばいしている状況だ。

なお内部要因に関しては、「日々雑感」の中での会員版にアップしてある。アクセスしてみて下さい。

ともかく**当限は 66,490 円（10/2）と一代高値の更新**であり、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 10 月	¥44,250	10 月 17 日	**¥66,490**	**10 月 2 日**	¥36,410	12 月 15 日	¥65,500
2012 年 12 月	¥37,500	12 月 16 日	¥63,950	7 月 23 日	¥36,830	12 月 16 日	¥55,200
2013 年 2 月	¥41,900	2 月 16 日	¥60,000	7 月 23 日	¥41,050	2 月 16 日	¥52,120
2013 年 4 月	¥45,350	4 月 16 日	¥56,480	7 月 23 日	¥41,750	6 月 4 日	¥50,700
2013 年 6 月	¥44,700	6 月 18 日	¥52,190	7 月 20 日	¥44,400	6 月 18 日	¥49,430
2013 年 8 月	¥48,020	8 月 16 日	¥51,810	9 月 5 日	¥47,620	8 月 17 日	¥49,170

○シカゴ大豆日足
…削除済み…

週末 10/5 のシカゴ市場は、11 月限で前日比変わらずの 1551.50 セント。ただし **2013 年 8 月限は 12.50 セント安の 1418.25 セント**であり、これも東京市場 3 連休中の一日目は下落である。

売られた原因はハーベスト・プレッシャーや他商品安の他、**インフォーマ社が 11 日の米農務省報告の事前予想を生産高 28 億 6000 万 Bu**(9 月米農務省報告 26 億 3400 万 Bu)、**単収 37.8Bu/Ac**

とした事もある。

これでも**昨年の生産高 30 億 5600 万 Bu** よりは大幅に少ないが、18 ドルに接近していた頃の危機感から見れば、ちょっと楽観視されても仕方のないところである。

なおブラジルは大豆の作付が始まり、…中略…

また CFTC 発表の 10/2 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、まだ相場は上昇トレンドを回復しておらず、かと言ってこれ以上大きく崩れるのも難しそうに見えるところである。11 日の米農務商報告において、在庫率がどう変化するかに注目である。ちなみに前回は 4.3%であり、それよりも多いか少ないかに注目だ。

〔ゴム〕

〇東京ゴム日足
…削除済み…

今週のゴムの値動き

	10 月限(当限)	前日比	3 月限(先限)	前日比
10 月 1 日	256.0	−1.0	260.5	0.0
10 月 2 日	265.0	9.0	270.4	9.9
10 月 3 日	266.2	1.2	269.7	−0.7
10 月 4 日	267.0	0.8	271.8	2.1
10 月 5 日	264.2	−2.8	269.9	−1.9

先週号においては『249.0 円で調整相場は完了しただろう。押し目買いで、目標値は押し目の倍返しの 278.2 円に設定するのがベターであろうと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、予想通りに **249.0 円（9/27）から反騰**を開始した相場が、週末には **275.5 円まで上昇**。もっとも 270 円台は簡単には維持できず反落であり、倍返しまでの上昇は難しかった模様。

チャートは 3 段上げをすでに達成しており、**相対力指数も 2 度目の 70 ポイント台乗せ**である。
…中略…

8 月の 205 円台での大底入り示唆から、基本的に今まで押し目買い方針を採ってきた相場ではあるが、ぼちぼちまた大転換を図る時期が近づいて来ているような気がする。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 10 月	307.2	4 月 24 日	317.8	5 月 2 日	200.9	8 月 15 日	264.2
2012 年 11 月	267.8	5 月 28 日	274.0	5 月 30 日	203.6	8 月 15 日	265.3
2012 年 12 月	233.3	6 月 26 日	**271.5**	**10 月 5 日**	204.5	8 月 15 日	265.3
2013 年 1 月	230.2	7 月 26 日	**272.7**	**10 月 5 日**	205.6	8 月 14 日	267.4
2013 年 2 月	230.0	8 月 26 日	**274.2**	**10 月 5 日**	216.4	8 月 31 日	268.7
2013 年 3 月	253.5	9 月 25 日	**275.5**	**10 月 5 日**	249.0	9 月 27 日	269.9

当先のサヤは、10 月限 264.2 円～3 月限 269.9 円と **5.7 円の順ザヤ**。ほぼ**同ザヤと言っても良い水準**である。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、9/30 現在で 155 トン減の 6,060 トン。14 旬連続の減少であり、国内在庫の低下は続いている。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、今週は国慶節で 1 週間の長期休場。休み前は急騰して 25000 元台を一時回復していたが、さて国慶節明けの上海市場がどう動くかは注目だ。

休み前中国人民銀行は、過去最大規模となる 3650 億元（約 4 兆 5000 億円）の資金供給を実施。だが**温厚な日本人は、黙って静かに中国市場から撤退を図る構え**であり、少なくとも中国に新たな工場を作るのなら、インド・ベトナム・ミャンマーなどに進出を図るはずだ。

こういう流れというのは大きいもので、レアメタルだって中国の禁輸があってから新技術の開発で以前よりも大きく輸入は低下しており、必要な輸入も他国に振り分けてしまっている。中国国民は日本に対しレアメタル禁輸などの経済制裁を叫ぶが、**実際は中国のレアメタル会社は日本への輸出がすでにピーク時の 3 割以上の減少で、過剰在庫に苦しんでいる**という。こういうのは、徐々に効いてくるはずだ。

結論として当方の相場観は、ぼちぼち戻り売り相場に転換する時期が近づいているかも。利食い千人力で、相場の転換を待つのがベターだろう。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足
…削除済み…

今週の原油の値動き

	10 月限(当限)	前日比	3 月限(先限)	前日比
10 月 1 日	¥53,590	240	¥51,990	
10 月 2 日	¥53,890	300	¥52,290	300
10 月 3 日	¥53,630	−260	¥52,000	−290
10 月 4 日	¥52,660	−970	¥50,990	−1010
10 月 5 日	¥54,140	1480	¥52,550	1560

まずは原油から…

先週号においては『現状の相場観は中立。先行きの経済懸念と金融緩和のどちらに凱歌が上がるかは不明であり、順当なら突っ込み買い、吹き値売りの逆張り対処が良しか』とコメントした。

今週の相場展開は、**NY 原油は** 10/3 に急落して **87.70 ドルまで下落**。しかし翌日は下げた分を大きく戻し、週末はまた下落して 89.88 ドルと 90 ドル台を割り込んでの終了。

QE3 が発動された後、**100.42 ドル（9/14）**まで上昇した相場は、急落後のもみ合いを経てまた下落し、**87.70 ドル（10/3）まで 12.72 ドル（12.6%の下落）下げた**わけである。ここはチャート上ではちょうど雲の下限であり、翌日はトルコ VS シリアでの緊張から戻したが、週末は米雇用統計改善も材料視されず、EIA 統計での過剰生産が弱材料視され、結局また 90 ドル割れまで下げたわけだ。

チャートでは 94 ドルと来ればまた流れが変わるが、3 日の安値を割り込むようなら投げが出るだろう。

現状では、…中略…

なお週末の**ロンドンブレントは 112 ドル台、ドバイ原油は 108 ドル台**であり、こちらも今は上げもせず、下げもせずだ。

また **10/25 現在のファンドのポジションは**、…中略…

○東京原油日足
…削除済み…

東京原油は、55,540 円（9/18）→50,290 円（9/21）まで 5,250 円の急落の後、2,000 円幅程度での横ばいだ。

53,000 円と来れば雲の上に出てくるし、半値戻し以上になって相場は強くなりそうだ。しかし逆に 50,290 円を割り込むと、一段安の展開を強いられそうでもある。

先週号では『まだ 53,000 円の戻りは達成していないので何とも言えないが、5 万円割れも回避しそうなので、相場観はまた中立に戻す』としたわけで、週末 2 日間の乱高下はあったものの、

どちらにも抜けていないのだから相場観は変わらない。
…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 10 月	¥57,430	5 月 1 日	¥57,710	5 月 2 日	¥44,310	6 月 26 日	¥54,140
2012 年 11 月	¥47,650	5 月 1 日	¥56,110	9 月 18 日	¥44,190	6 月 26 日	¥53,650
2012 年 12 月	¥47,580	7 月 2 日	¥56,080	9 月 18 日	¥46,240	7 月 3 日	¥53,330
2013 年 1 月	¥48,890	8 月 1 日	¥55,790	9 月 18 日	¥48,420	8 月 1 日	¥53,070
2013 年 2 月	¥53,910	9 月 3 日	¥55,540	9 月 18 日	¥50,290	9 月 21 日	¥52,780
2013 年 3 月	**¥52,040**	**10 月 1 日**	**¥52,700**	**10 月 2 日**	**¥50,560**	**10 月 4 日**	¥52,550

結論として当方の相場観は、53,000 円と来れば再び高値更新の強い相場になるだろうし、50,290 円を割り込むようなら下げは深いだろう。材料は盛り沢山だが、相場は相場に聞けであり、今は中立での逆張り対処がベターだろう。

〇東京ガソリン日足
…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	11 月限（当限）	前日比	4 月限（先限）	前日比
10 月 1 日	¥66,160	−80	¥65,220	−10
10 月 2 日	¥66,760	600	¥65,750	530
10 月 3 日	¥66,460	−300	¥65,450	−300
10 月 4 日	¥65,540	−920	¥64,260	−1190
10 月 5 日	¥66,890	1350	¥66,210	1950

続いてガソリンです…先週号においては『20 日の大陰線を包み込んだチャートであり、67,000 円で大天井を打ったというよりも、今は 61,000 円で調整安を完了したという方が適正に思える展開にまた変化。押し目買い、吹き値売りでの対処が良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、**4 日には急落するものの、3 連休前の週末は一転急騰**。66,000 円台での引けとなったが、その後の夜間取引では 1,000 円幅の乱高下。勝負は連休明けに持ち越された格好だ。

上値抵抗線は 67,170 円（9/18）であり、これは戻り天井の価格でもある。**下値支持線は 64,000 円（10/4）と、61,020 円（9/21）である。**

67,170 円を抜ければ青天井だろうし、64,000 円を割り込むと 61,020 円が近づくところまでは下げるだろう。更に 61,020 円を割り込むと、相場は崩壊するだろう。

…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 11 月	¥69,280	4 月 26 日	¥69,690	4 月 27 日	¥54,040	6 月 26 日	¥66,890
2012 年 12 月	¥61,470	5 月 28 日	¥66,660	9 月 18 日	¥53,530	6 月 26 日	¥65,830
2013 年 1 月	¥54,070	6 月 26 日	¥66,530	9 月 18 日	¥53,460	6 月 26 日	¥64,690
2013 年 2 月	¥58,670	7 月 26 日	¥66,350	9 月 18 日	¥58,160	7 月 27 日	¥64,210
2013 年 3 月	¥64,510	8 月 27 日	¥67,170	9 月 18 日	¥61,020	9 月 21 日	¥64,730
2013 年 4 月	¥63,400	9 月 26 日	**¥66,240**	**10 月 5 日**	¥63,280	9 月 27 日	¥66,210

10/5 現在の業者間転売価格は、…中略…

9/29 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、現在の先物は 4 月限であり、今後 5 月限、6 月限と最大需要期限月が先物に出る事や年末消費を考えれば、限月習性での高値追いの可能性は否定出来ない。しかし原由の上昇には陰りがある事で、ガソリンも高値追い一方というのは考えづらい状況でもあり、逆張り乱高下の難しい相場が続くのではないかと予測する。

〇東京灯油日足
…削除済み…

今週の灯油の値動き

	11 月限(当限)	前日比	4 月限(先限)	前日比
10 月 1 日	¥67,760	−70	¥65,210	30
10 月 2 日	¥67,400	−360	¥65,380	170
10 月 3 日	¥67,150	−250	¥65,070	−310
10 月 4 日	¥66,200	−950	¥63,990	−1080
10 月 5 日	¥67,910	1710	¥65,750	1760

最後に灯油です…先週号においては『中物は押し目買い、先物は戻り売りの相場観であるが、大勢は原油相場しだいであり、それの情勢がはっきりしないと仕掛けはしづらい相場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、4 日は急落、5 日はそれ以上の急騰となったが、逆ザヤ相場ゆえに先物チャートはガソリンに比べると重い印象での終了。夜間取引でも 1,000 円の乱高下であった。

先物引き継ぎ足チャートでは 69,750 円（9/18）が天井であり、週末は急騰したとは言え、そこまではまだだいぶある状況だ。

期近が需要期、先物は不需要期という限月状況からみても、69,750 円を突破するのは容易ではなさそうだ。逆に 63,320 円を割り込む下落の方が、何かあった場合には可能性が高そうでもある。

…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 11 月	¥70,800	4 月 26 日	¥71,400	4 月 27 日	¥56,350	6 月 26 日	¥67,910
2012 年 12 月	¥64,110	5 月 28 日	¥70,550	9 月 18 日	¥56,800	6 月 26 日	¥68,270
2013 年 1 月	¥57,800	6 月 26 日	¥70,400	9 月 18 日	¥57,080	6 月 29 日	¥68,090
2013 年 2 月	¥61,810	7 月 26 日	¥70,230	9 月 18 日	¥61,350	7 月 26 日	¥67,890
2013 年 3 月	¥67,500	8 月 27 日	¥69,750	9 月 18 日	¥64,440	9 月 21 日	¥66,790
2013 年 4 月	¥64,320	9 月 26 日	**¥65,920**	**10 月 2 日**	¥63,320	9 月 27 日	¥65,750

10/5 現在の業者間転売価格は、…中略…

9/27 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、懸念されていた在庫状況も改善され、灯油独自の材料はほとんどなくなったと思われる。原油相場次第ではあるものの、どちらかと言えば逆ザヤ拡大での戻り売り相場を予測しており、急騰場面の売り狙いがベターだと考える。

〔為替〕

○ドル/円相場日足
…削除済み…
　週末の NY タイムでは、78.63 円と若干の円安。雇用統計は失業率はダウン、非農業部門雇用者数は事前予想よりも少ないと、どっち付かずの発表ゆえ、動けなかった模様。
　日銀金融政策決定会合では、今回は前原大臣が出席したために、逆に日銀は何も出さず。次回には金融緩和をやるのだろうが、大臣が出席して何かを決めたら、独立性が損なわれる。

　来週の主な予定は、
9 日（火）～14 日（日）IMF 年次総会（東京で 48 年ぶりに開催）
10 日（水）米卸売売上高
11 日（木）米新規失業保険申請者数、米貿易収支、米財政収支、米輸入物価指数
12 日（金）IEA 月報、米生産者物価指数、米ミシガン大学消費者信頼感指数
　などである。

○ユーロ/円相場日足
…削除済み…
　円安/ユーロ高が 103.84 円（8/17）で頭打ちした後、先週末には 99.63 円（9/27）まで円高となったが、また 101 円台までは円安となって来ている。
　…中略…

○ユーロ/ドル相場日足
…削除済み…
　このチャートも 1.317 ドル（9/17）→1.280 ドル（10/1）までドル高となった後は、またドル安/ユーロ高の方向に向き始めた。
　雇用統計が出た週末の NY では、伸び悩んでいる。週明けはコロンブスデーで米国金融機関は休みなので（商品市場は開いている）、動きづらかったのかもしれない。

　このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。
内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものでは在りません。
（当たり前ですが念のため）

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com